

介護職員等による  
たんの吸引等の研修・支援事業  
(平成24年度)  
実施報告書

介護職員等によるたんの吸引等の研修・支援事業(平成24年度)実施報告書

介護職員等によるたんの吸引等の研修・支援事業  
(平成24年度)実施報告書

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

【発行元・連絡先】

特定非営利活動法人 地域ケアさぽーと研究所

〒187-0032

東京都小平市小川町二丁目 1915 番地 コーポ希林館 103 号室

電話: 042-403-3229 FAX: 042-403-3229

URL: <http://members3.jcom.home.ne.jp/ccsupport/>

Email: [ccsupport@jcom.home.ne.jp](mailto:ccsupport@jcom.home.ne.jp)

理事長 飯野順子

特定非営利活動法人地域ケアさぽーと研究所

平成25年3月31日  
特定非営利活動法人 地域ケアさぽーと研究所  
独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

# 介護職員等による たんの吸引等の研修・支援事業 (平成24年度) 実施報告書

## <内容>

はじめに	……2
介護職員等によるたんの吸引等の研修・支援事業（平成24年度）実施報告	……3
1 「介護職員等によるたんの吸引等（特定の者対象）の研修事業」	……5
2 「医療的ケア児・者への生涯学習を視点とした訪問・福祉サービス事業」	……9

特定非営利活動法人 地域ケアさぽーと研究所  
独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

## はじめに

### 【訪問カレッジ@希林館の活動を開始して】

「私は一昨年肺炎になり、気管切開をしました。それで声を失いました。絶望のどん底に落ちてしまいました。～中略～iPad を使ったゲームや情報を色々勉強させてもらっています。普段は身体がきつくて辛いのですが、@希林館の時間は、楽しくて痛みを忘れて夢中になってしまいます。私の命が続く限り入り入ってたいです」(本文後出)と、Eさんはその感想を書きました。

「訪問カレッジ」は、5年前ほどからその構想を温めていました。本年度、その開設に踏み切った時に、Eさんがケースとして上がってきました。Eさんとそのご家族の深みの淵にある心理的な状況を聞いた時に、私たちは、Eさんのような方のために、生涯学習の学びの場として、訪問カレッジを開設するという意義づけと新たな道に一步踏み出す勇気をもらいました。

医療的ケアの必要な方々は、特別支援学校卒業後の通所先が、限定されています。加齢に伴って、医療的ケアの必要性も高くなり、特に外出が困難になってきています。

本年度、「訪問カレッジ@希林館」の活動は、試行事業として、多摩地区に限定して、実施しました。実施して、改めて、生涯にわたって学び続けたいという夢や願いをかなえる機会と場は、皆無に等しい状況であること、それに反比例して、ご本人やご家族にとっては、そのニーズと期待が大きいことを感じました。

満足そうな笑顔と次への期待のために、そして、人生の輝きのために、今後、どのように発展させていくか、追求していく責務を感じています。

### 【「介護職員等によるたんの吸引等（特定の者対象）の研修」を実施して】

「社会福祉士法及び介護福祉士法の一部改正」(23年6月)により、平成24年4月1日から、一定の研修を受けた介護職員等は、たんの吸引等の行為を実施できるようになりました。

本研究所は、NPO法人化する前は、「医療と教育研究会」として、養護学校(当時)の医療的ケアの課題に取り組んできました。そして、事業の継続性・発展性を図るためには、組織的な合意形成による活動の展開が必要であると考え、NPO法人として、本研究所を設立しました。

その主たる活動は、医療的ケアの必要な方々を支援する人材を育成する研修事業です。

法制化に伴って、人材育成の仕組みが整備され、「喀痰吸引等研修機関」の事業者として、第3号研修登録機関(登録日平成24年9月1日 番号132000003)の指定を受けました。このことは、長年にわたる医療的ケアの取り組みの推移を思い起こすと、医療的ケアの必要な方々の地域生活を支える人材育成が名実ともに可能になったこととして、大変うれしいことと実感しています。

研修内容の充実のためには、たんの吸引と経管栄養の演習・実習に必要な機器等の整備が課題です。このことに関しては、福祉医療機構からの助成によって、大きな成果を上げることができました。何よりも、研修を受講する方々の熱意と努力に打たれて、研修を展開しています。

両事業とも、今後、一步一步拡充していける基盤が整い、見通しがもてるようになりました。関係する方々に感謝申し上げます。

平成25年3月末日

理事長 飯野順子

## 介護職員等によるたんの吸引等の研修・支援事業（平成24年度）実施報告

平成24年度から「社会福祉士法及び介護福祉士法の一部改正」（23年6月）により、一定の研修を受けた介護職員等は、医療や福祉との連携による安全確保等の一定の条件の下で、「たんの吸引等」の行為を実施できるようになった。

本研究所では、その人材育成の必要性に鑑み、研修実施機関として登録し、研修を実施するために、福祉医療機構の助成を得て演習・実習に必要な備品等の購入を行い、「介護職員等によるたんの吸引等（特定の者対象）の研修事業」として、研修を実施した。

また、生涯学習を視点とした訪問・福祉サービス「訪問カレッジ@希林館」を、9月に新たに立ち上げ、医療的ケアの必要な方の自宅に訪問し、本人の学び・趣味・生きがいとなる学習支援を行った。そのニーズと期待は大きい。特に、福祉医療機構の助成を得て購入したコミュニケーション支援機器は、利用者や家族の方々から喜ばれ、効果的な活用ができた。

以下、その内容について報告する。

### 1 介護職員等によるたんの吸引等（特定の者対象）の研修事業

(1) 目的 たんの吸引や経管栄養など医療的ケアを必要とする障害の重い人たちや家族などが、地域で心豊かな生活を送れるようになるための安心・安全な環境づくりの一助として、支援者を育成するために本研修を実施する。

(2) 事業者の登録

事業の実施に当たっては、「喀痰吸引等研修機関」の事業者としての資格取得のために、東京都に申請を行った。その結果、第3号研修登録機関（登録日平成24年9月1日 番号132000003）の指定を受けた。その事業内容は、下記の通りである。

(3) 講師 計10名

(4) 募集人員 1回につき5名

(5) 実施日と参加者

第1回	平成24年11月	3日（土）・4日（日）	3名
第2回	平成24年12月	15日（土）・16日（日）	2名
第3回	平成25年	1月26日（土）・27日（日）	5名

(6) 成果

本事業の特徴は受講定員を5名にして、講義では随時質疑応答を行い、演習では経管栄養及び痰の吸引のシミュレーター人形を使って時間をかけて行ったことである。こうしたことで、受講者が対応している利用者の個別的な課題についても答えることができた。そのため受講生からは学習に対する高い満足を得ることができた。一方、参加者が定員以下の回があったが、これは重症心身障害児者に特化した本事業の特徴と案内が関係事業所に十分周知できなかったこと、及び東京都では公益財団法人東京都福祉保健財団が東京都の委託を受けて実施していることなどの理由が考えられた。

次年度からは、本年度の実績等を下に、「介護職員等によるたんの吸引等（特定の者対象）の研修事業（9時間）」並びにこれまでに本会が実施している「重度訪問介護従業者養成研修（20時間）」の統合課程の2本立てで実施していく。

## 2 医療的ケア児・者への生涯学習を視点とした訪問・福祉サービス事業

(1) 目的 訪問・福祉サービス事業は、障害や病気のために通所施設等の毎日の利用が難しい18歳以上の障害者等の自宅等へ学習支援員を派遣して、障害者等の豊かな地域生活を目指した生涯学習を支援することを目的とする。なお、事業の名称は、「訪問カレッジ@希林館」とする。

(2) 実施時期

平成24年7月 利用の希望者募集と訪問面談

平成24年9月 訪問開始

(4) 利用者 6名

(5) 学習支援員 9名（元特別支援学校教諭）

(6) 訪問回数 週1回 3名 隔週1回 3名

(7) 利用者の概要（6名）

- ・利用者は福祉や医療の訪問系サービスを利用しているが、通所回数は週0～3日と毎日利用している者はいない。
- ・医療的ケア 人工呼吸器2名 気管切開3名 経管栄養6名 IVH1名 吸引5名  
人工肛門1名
- ・コミュニケーションに関すること 音声会話可能1名

(8) 学習支援員への対応

- ・学習支援員へのバックアップ体制として、ボランティア保険等に参加する。
- ・学習支援員の学習の確認・情報交換・学習支援上必要な事項等を話し合うために、連絡会を設けた。
- ・支援内容の記録の保管等関係する書類の整備を行う。
- ・学習支援員には、報酬を支払った。その財源は、主に寄付金等である。

(9) 成果

学校教育で培ってきた学習内容をもとに、生涯学習として利用者本人が学びたい内容を学習支援員が支援してきた。利用者も保護者もこうした教育的な学習支援に関するサービスに対する高いニーズを持たれていた。利用者は、個別の支援により意欲的に学習に取り組んでいた。

助成金で購入したパソコンやスイッチ、タブレットを活用した支援では、コミュニケーション意欲が高まるとともに、自分で同じ機器を購入した利用者もみられた。

また、学習の様子を見ていた訪問看護師や訪問介護職員からは、「これまでの支援の中で、このような良い表情は見たことがなかった」という感想が聞かれた。このように本事業を通じて、利用者や介護事業等の支援者の双方に対して良い影響を与えることができた。

(10) 今後の課題

- ・介護保険や障害者自立支援法によるホームヘルプサービスには、家事援助や身体介護であり、本人への生涯学習を視点とした訪問系のサービスがない状況である。そのため、人件費・派遣費は法人が負担している。利用ニーズが高いので、資金面でのバックアップのあるシステムの構築が課題である。
- ・本事業は、在宅医療の延長線上にあり、その関係者とのネットワークの形成が課題である。

1 「介護職員等によるたんの吸引等（特定の者対象）の研修事業」

**独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業**  
 平成24年度特定非営利活動法人地域ケアさぼーと研究所  
 「重症児者のたんの吸引等医療的ケア支援者養成研修（特定の者）」のご案内

**1 目的**

たんの吸引や経管栄養など医療的ケアを必要とする障害の重い人たちや家族などが、地域で心豊かな生活を送れるようになるための安心・安全な環境づくりの一助として、支援者を育成するために本研修を実施する。

**2 主催**

特定非営利活動法人 地域ケアさぼーと研究所(第3号研修登録機関 登録日平成24年9月1日 番号132000003)

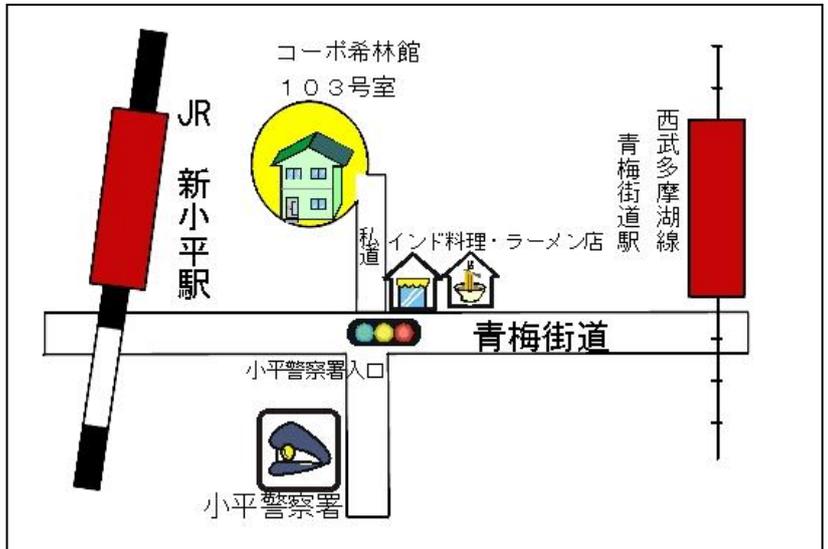
**3 日時**

第1回	<基礎研修>	第1日 平成24年11月 3日(土) 10:00~16:30 ※受付 9:30~
	9時間+筆記試験	第2日 平成24年11月 4日(日) 12:45~16:30 ※受付 12:30~
	<実地研修>	日程を相談の上、各対象居宅及び受講者の勤務先の施設で実地研修を行います。
第2回	<基礎研修>	第1日 平成24年12月15日(土) 10:00~16:30 ※受付 9:30~
	9時間+筆記試験	第2日 平成24年12月16日(日) 12:45~16:30 ※受付 12:30~
	<実地研修>	日程を相談の上、各対象居宅及び受講者の勤務先の施設で実地研修を行います。
第3回	<基礎研修>	第1日 平成25年 1月26日(土) 10:00~16:30 ※受付 9:30~
	9時間+筆記試験	第2日 平成25年 1月27日(日) 12:45~16:30 ※受付 12:30~
	<実地研修>	日程を相談の上、各対象居宅及び受講者の勤務先の施設で実地研修を行います。

**4 会場**

特定非営利活動法人 地域ケアさぼーと研究所事務所 (東京都小平市新小平町二丁目1915番地コーポ希林館103号室)

交通 JR武蔵野線新小平駅徒歩3分または  
西武多摩湖線青梅街道駅徒歩5分



**5 受講料 3000円 (テキスト代)**

平成24年度は独立行政法人福祉医療機構による助成金を活用し運営するため、テキスト代のみを受講料とします。

**6 対象**

- ①東京都近郊在住、在勤で通学可能な者。
- ②実地研修にご協力いただく利用者本人（本人が難しい場合は家族）の同意が得られていること。
- ③実地研修・評価にご協力いただく訪問看護師を派遣する訪問看護事業所の承諾を得られていること。

**7 定員 各回 5名**

## 8 研修カリキュラム

### (1) 基本研修カリキュラム

		科目	時間数
講義	①概論	重度障害児・者の地域生活等に関する講義	2
	②たんの吸引 (講義)	喀痰吸引を必要とする重度障害児者 (人工呼吸器装着者を含む) の障害及び支援に関する講義	3
		緊急時の対応及び危険防止に関する講義	
	④経管栄養 (講義)	経管栄養を必要とする重度障害児者の障害及び支援に関する講義	3
緊急時の対応及び危険防止に関する講義			
演習	③たんの吸引 (演習)	口腔、鼻腔、気管カニューレ内部の吸引	0.5
	⑤経管栄養 (演習)	胃瘻・腸瘻、経鼻経管栄養	0.5
			9.0

### (2) 実施スケジュール

		9:00	9:30	10:00	12:00	12:45	15:45	16:15	16:30	17:00
<1日目>	置 (机の準備)									
	受付									
	①概論 (休憩時間含む)									
	お昼休み									
	②たんの吸引 (講義)									
	③たんの吸引 (演習)									
	(評価) たんの吸引									
	片付け									
<2日目>	(机の準備) 準備									
	受付									
	④経管栄養 (講義)									
	⑤経管栄養 (演習)									
	(評価) 経管栄養									
	片付け									

### (3) 実地研修

各利用者の居宅または受講者の勤務先の施設で実地研修を行います。本研究所の指導看護師が評価しますが、できるだけ利用者が利用している訪問看護師または施設の看護師に同席していただくことで、日常の福祉・医療との連携につなげていきたいと思っております。

## 9 修了証書の交付

「基本研修」による筆記試験 (各 15 分程度、択一式) に合格した後、「実地研修」において指導看護師により全評価項目で 2 回連続「A: 手引きの手順通りに実施できている。」と評価された場合に、研修委員会において受講者の修了認定を行い、修了証書を交付します。

## 10 申込み方法

(1) 別紙受講申込書を E メールまたはファクシミリで申し込んでください。受付は先着順です。受講決定または定員超過のために受講不可の通知は必ず各自に送信いたします。

<宛先> E-mail : [ccsupport@jcom.home.ne.jp](mailto:ccsupport@jcom.home.ne.jp) ファクシミリ : 042-403-3229

(2) 締め切り 第 1 回 10 月 19 日 (金)・第 2 回 11 月 30 日 (金)・第 3 回 1 月 11 日 (金)

(3) 受講料の入金について 受講当日に会場にて受講料等を納入していただきます。

## 11 その他

(1) 認定特定行為従事者の認定と登録特定行為事業者の登録について

本研修を修了した介護職員等が、特定の者に対してたんの吸引等を実施するためには、都から「認定特定行為業務従事者」としての認定を受けるとともに、事業所等は「登録特定行為事業者」として登録をする必要があります。申請に関する手続きについては、東京都福祉保健局障害者施策推進部計画課の HP を御確認ください。

( [http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shougai/jigyotannokyuuin\\_tokutei/index.html](http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shougai/jigyotannokyuuin_tokutei/index.html) )

NPO法人地域ケアさぽーと研究所の下川

E-mail : ccsupport@jcom.home.ne.jp ファクシミリ : 042-403-3229

(締め切り日 第1回10月19日(金)・第2回11月30日(金)・第3回 1月11日(金))

## 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

平成24年度特定非営利活動法人地域ケアさぽーと研究所

「重症児者のたんの吸引等医療的ケア支援者養成研修(特定の者)」受講申込書

①氏名 (ふりがな)	
②生年月日	大正・昭和・平成 年 月 日
③所属	
④自宅住所	〒
⑤自宅または携帯電話	
⑥メールアドレスまたは ファクシミリ番号	
⑦参加希望の回 (いずれか○)	第1回 ・ 第2回 ・ 第3回
⑧利用者の状況 (括弧に記入または○)	(ふりがな) ( ) ・利用者のお名前 ( ) ・ケアの種類 ・たんの吸引(鼻腔・口腔・カニューレ内) 人工呼吸器の使用の有無(あり・なし) ・経管栄養(経鼻経管・胃瘻・腸瘻) ・利用者のサービス種別(介護保険・障害者自立支援法)
⑨訪問看護師または施設の 看護師の協力(可・不可) →可の場合に看護師所属先	訪問看護師または施設の看護師の協力(可・不可) →可の場合に看護師所属先 ( )

## 2 「医療的ケア児・者への生涯学習を 視点とした訪問・福祉サービス事業」

## 訪問・福祉サービス事業「訪問カレッジ@希林館」 実施報告

※本報告書の写真は、本人・ご家族の承諾を得て掲載している。

### 1 利用者Aさん

身体機能・健康配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気管切開・喉頭気管分離術（カニューレはアジャストフィットを利用。シリコンタイプを利用していたときに腕頭動脈瘻で大出血を起こし、2回呼吸停止したが奇跡的に快復）</li> <li>・通常酸素療法、夜間人工呼吸器</li> <li>・腸瘻による経管栄養（エレンタール）1日17時間カンガルーポンプ利用。</li> <li>・体重19キロ、低緊張。</li> </ul>
他の福祉サービスの利用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活介護事業所 週3回通所</li> <li>・訪問介護・訪問看護 週1回（入浴）</li> </ul>
学習内容	マッサージ、音楽、読み聞かせ、美術制作、スイッチ操作
訪問日	毎週木曜午後
学習の様子	<p>時に外出の調整などをして体調を整え、訪問を楽しみにしています。「体の取り組み」では、静的弛緩法での触れを心地良さそうに受けとめていて、肩の緊張や呼吸の様子に、変化が毎回見られていました。</p> <p>各取り組みに対し、視線を向け、期待感を見せています。「秋」をテーマに、香りを交え、コルク粘土やスパゲッティの感触、顔料・墨の色彩や筆を持つ腕の動かしを意識し制作しました。集中して視線や手、腕を動かし、作成と共に仕上げた作品の鑑賞を楽しんでいます。</p> <p>「詩の朗読やことば遊びの語り」に、集中して聞き入り、笑顔を見せていた。楽器の演奏や歌も表情を和ませていました。</p>
利用者の保護者から	<p>昨年10月に入学、毎週楽しく授業を受けています。</p> <p>静的弛緩誘導法による体の取り組みでは、手・腕・肩・首・足・腰の緊張が和らぎ、気持ちよい様子です。</p> <p>左手は不随意運動があり、抑制していないとカニューレや腸ろうのチューブを引っかけ危ないのですが、取り組みの後は抑制が無くても、手のバタつきがなく、落ち着いた体で次の活動に移れます。自分の手で体に触れ、「自分の体を知る」授業では、集中して先生の話に耳を傾け、体を確認していました。</p> <p>創作の時間は、リラックスした体で自由に動く手を使い、たくさんの作品が仕上がりました。工程では、材料の説明や、素材の感触や匂いなども楽しみながら作業しています。</p>

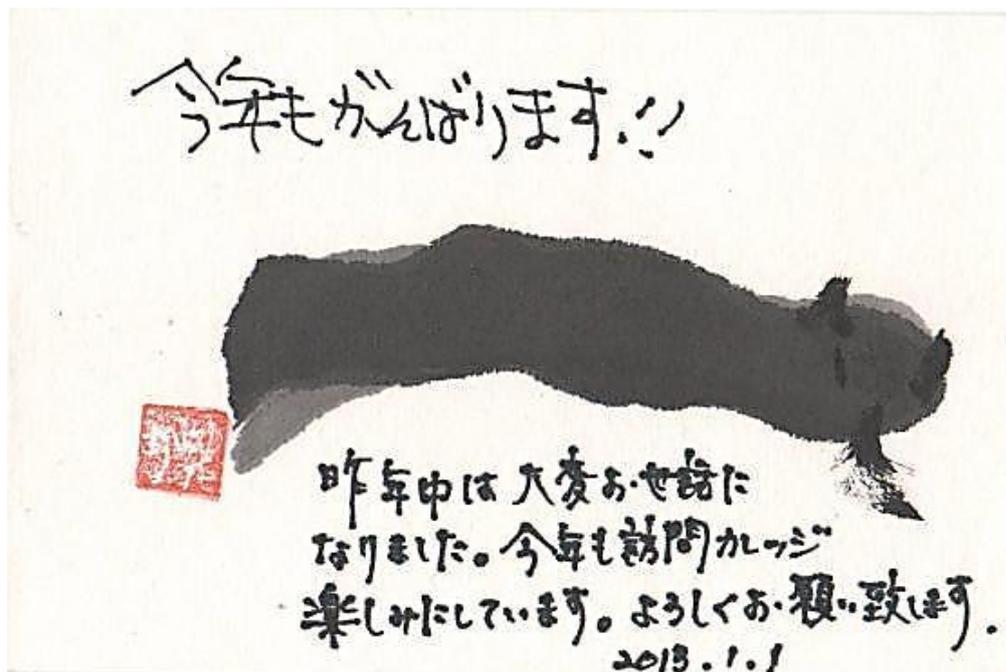
温かい、冷たい、重い、ふわふわ、ねばねば…初めての感触もたくさんありました。作品が一つ仕上るたび、満足そうな笑顔と、次への期待が表情でわかります。また、友達や訪問看護師、ヘルパーさん達に作品を褒められてと、とても嬉しそうにしています。

この時間に向ける集中力とエネルギーには驚いています。

これからも、豊らしい「もの作り」を経験してほしいなと思っています。

本の読み聞かせでは、言葉の面白さや新しい「学び」もたくさんあり、授業のエンディング…ゆったりとした時間で、創作の時間とはまた違った表情を見せてくれます。

今、豊にとって訪問カレッジは生活の一部となり、元気に授業をうけることが目標になりました。そして、新しいことへの興味、チャレンジは、「生きる力」となっています。限られた環境の中での授業展開は大変だろうな…と思いますが、これからも授業を楽しみにしていますので、よろしくお願いいたします。



## 2 利用者Bさん

身体機能・健康配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IVH利用で母が輸液の針を刺して日常的に点滴。</li> <li>・経鼻咽頭エアウェイ。</li> <li>・経鼻経管栄養（エレンタール）はポンプを使用。</li> </ul>
他の福祉サービスの利用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活介護事業所 2回/週</li> <li>・ヘルパー 重度訪問介護 220 時間</li> <li>・訪問リハ 1回/週</li> <li>・往診 クリニック 2回/月</li> </ul>
学習内容	体操、音楽、読み聞かせ
訪問日	第2・4月曜午前
学習の様子	<p>体調を保護者から伺い、気分はどうかなと様子を見せていただいて、学習が始まります。入院も時々あり、身体のかたさも見られることが多いので、「からだ」の取り組みを大事にしています。足や腰手背中等に触れてもらうと気持ちよいという様子やじっとその感覚に集中している様子が見られます。</p> <p>言葉かけやからだを通してのコミュニケーションを大事に行っています。</p> <p>読み聞かせでは、読み手の声の調子や音を通して、お話をよく聞いて楽しんでいきます。興味・関心が広がっています。</p> <p>音楽では楽器の音色や歌も大好きです。好きな身体遊びもあり、いつも笑顔がいっぱいです。</p>
利用者の保護者から	<p>毎日点滴が必要で、外出がままならない中、学習支援員の先生方の授業を楽しみにしています。</p> <p>血圧や水分量のコントロールのための入院が増え、通所したり、リハビリを受ける機会がめっきり減り、身体のかたさや変形の進行が気になっています。</p> <p>「からだ」の取り組みの後は、身体がとても楽になるようで、その日は一日中機嫌良く過ごせます。また、学校時代にはあまり好きではなかった本の読み聞かせが、こんなに好きになるとは、…新たな発見です。</p> <p>好きなことを学べるのは、とても幸せなことですね。本当に感謝しています。欲を言えば、入院先でも授業を受けられると良いのですが…。</p>

### 3 利用者Cさん

身体機能・健康配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経管栄養</li> <li>・痰の吸引</li> </ul>
他の福祉サービスの利用状況	無し
学習内容	体操、音楽、読み聞かせ、外出
訪問日	毎週木曜午前
学習の様子	<p>・約2時間の訪問時間を前半・後半に分けて実施しています。</p> <p>■前半は椅子に座っての学習</p> <p>始まりの音楽…スイッチでカセットに録音した曲を自分で流す。 あいさつ……日にち、「これからーを始めます」、名前呼び 季節の歌……学校時代に歌った季節の歌2曲から選ぶ。 同世代の人が歌うような歌をいくつか選ぶ。 合奏か輪唱…スイッチを押して、歌声や楽器音を流すことで人と一緒に音楽をプレイすることを楽しむ。 詩か物語……季節に合った詩の朗読、物語を聞く。 詩や物語に出てくる物に手でふれる経験もする。 *訪問した時から、発声が多く、前半は一度も眠くなることはありませんでした。同じ絵本を続けて読むと、好きな場面で声が出たり、笑顔が出ます。スイッチを使っでの合奏や輪唱は、目が輝きます。</p> <p>■後半は布団に横になっての身体のとりにくみ、マッサージでは末端の循環を改善、下肢・上肢の変形拘縮予防姿勢変換と体幹のリラックス、ゆったり深呼吸して排痰を促す。</p>



<p>利用者の保護者から</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週に1回ではありますが、日々母と二人で過ごす中、『お勉強』の日があり、朝から楽しみにしている様子です。</li> <li>・個別指導という事もあり、細やかに本人の表情、仕種をよく受け止めていただいている事、言葉は出なくても、本人の気持ちを重視してくださっている事に嬉しく思っています。 この積み重ねにより、今後さらに表現、表情が豊かになるのではと期待しています。</li> <li>・授業内容についても、その日の内容をテープに入れてくださっているので、その中で毎回している事、新しく取り入れている事を、母も知ることができます。本人の障害や理解度を、先生が把握してくださっていると感じています。</li> <li>・在宅で過ごす生活で、家族以外の人と接する時間も大切だと思います。この時間『お勉強します』という生き生きと目を輝かせる顔を、これからも見ていきたいと思えます。</li> <li>・在宅になった奈緒子に、楽しい時間を作ってください感謝しています。できることなら、大学生と同じように、3年か4年勉強する生活を続けさせてやりたいと感じています。週1回の勉強が二回になれば勉強したことも覚えやすくなるようにも感じています。</li> </ul>
------------------	--

#### 4 利用者Dさん

<p>身体機能・健康配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅人工呼吸器療法</li> <li>・経管栄養</li> <li>・低ナトリウム症</li> </ul>
<p>他の福祉サービスの利用状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問看護 2回/月</li> <li>・往診 クリニック 2回/月</li> <li>・生活介護事業所 現在通所できていない→週1回</li> <li>・ショートステイ 現在使用をやめている</li> </ul>
<p>学習内容</p>	<p>体操、音楽、読み聞かせ、美術創作活動</p>
<p>訪問日</p>	<p>毎週金曜午後（都合により、水曜日の午前）</p>
<p>学習の様子</p>	<p>ここ数年は、呼吸の問題や低体温などがあり、体調が不安定で外に出ることや体を起こすことなどができない状態でした。</p> <p>9月：様子を見ながら取り組みを始める。ベッドの時間が長く、体の取り組みが主であった。抱っこで絵本を読む。抱っこをすると、痰がでてきて吸引をしてもらう。</p> <p>10月：天気の良いときに、近くの公園に散歩に出かける。散歩は久しぶりとのこと。体の取り組みや絵本の読み聞かせを中心に行う。</p> <p>11月：始まりの歌を決める。午前の生活（PTの方の訪問があり、体の取り組みがある）のことを考えて、体の取り組みを最後にするなど取り組みの流れができる。長い時間抱っこで過ごし、フォークダンスや本立て作りをする。</p>

	<p>1 2月：メインの取り組みで、年賀状作りやお楽しみ会をする。お楽しみ会では、保護者の方にも入っていただき、演奏や人形劇を行った。笑顔で取り組みに参加するようになってきた。</p> <p>1月：メインの取り組みでは、書き初めやパン作り（1/25 パン生地をこねる）を行う。絵本やケーナの演奏を聞いたりもする。</p> <p>9月から、訪問カレッジの取り組みが始まり、体調が安定し、休むことがありませんでした。例年だと、冬の間は低体温になり、脈拍数も少なくなっていました。保護者の方が保温などに工夫をして、低体温にならないですんでいます。自発での呼吸を徐々に行い、呼吸器を外して、酸素吸入だけで授業ができています。訪問時ベッドからおりて、介助で姿勢をとる中で、排痰がスムーズに行われています。体の取り組みでは、背中の中の硬さが少し柔らかくなってきているのを感じています。</p> <p>回数を重ねる中で、取り組める内容も増えていき、表情も緩んできています。笑顔や驚いた表情も見られるようになってきました。</p> <p>授業については、月一回はふたり訪問を行っています。二人訪問の時には、取り組む内容に余裕があり、一人が姿勢介助をし、作る活動などができました。保護者の方にも、一人訪問時には授業に協力していただき、姿勢作りなどをお願いしました。絵本を家庭においてもらい、保護者の方にも絵本を読んでもいただきました。</p> <p>生活の中では、体調が安定する中で、通所も週一回通えるようになってきて、保護者の方も離れることができるようになってきています。</p> <p>体調がよく、定期的に訪問ができています。少しずつであるが、覚醒している時間が伸びてきて、いろいろな表情を見せるようになってきました。今後は楽しみです。</p>
<p>利用者の保護者から</p>	<p>大きく体調を崩し、起きることがなかなかできない生活から、訪問がスタートしました。睡眠学習も多かったのですが、図工で釘打ちをした時などハッとした顔をして、伝わっていることがよくわかりました。季節を感じられる内容をその都度考えて下さり、年賀状を作ったり、書き初めをしたり、作品もたくさん出来上がり、過程と共に楽しんでいます。</p> <p>私が抱き上げることが難しくなってきたので、抱っこで体を起こしてもらうことで、排痰もスムーズになり、視界も広がりますし、色々な姿勢をとり続けることができ、とても助かっています。最近覚醒している時間が増えてきたので、“楽しいことをたくさんしよう”と考えて下さっている先生方にこたえて、笑顔で勉強できる日も近いのではと、今後は楽しみです。今後ともよろしくお願い致します。</p>



## 5 利用者Eさん

<p>身体機能・健康配慮</p>	<p>&lt;訪問開始時&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気管切開（喉頭気管分離術） カニューレフリー</li> <li>・酸素療法（0.5リットル/分）</li> <li>・経管栄養（経口併用・初期食（プリンなど）</li> <li>・筋緊張が強く、ボトックスを右肩に打っている</li> </ul> <p>&lt;9/17～12/11 入院。退院後は以下が増えた。&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気管カニューレの装着（週に3回訪問看護師が交換）</li> <li>・人工呼吸器使用（2～3時間フリーが可能）</li> <li>・パルスオキシメーター（足指に装着）</li> </ul>
<p>他の福祉サービスの利用状況</p>	<p>&lt;訪問開始時&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活介護事業所 母同伴で毎週月・金の午前に利用。今後入浴サービスを利用希望・</li> <li>・重度訪問介護サービス 12時から19時</li> </ul> <p>&lt;現在&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重度訪問介護サービス ヘルパー派遣 614h/月。</li> <li>・東大和療育センターへ定期的にショートステイ（1Wぐらい）</li> </ul>
<p>学習内容</p>	<p>パソコン操作 文書作り、インターネットの閲覧、音楽</p>
<p>訪問日</p>	<p>第2・第4火曜午後</p>
<p>学習の様子</p>	<p>【主な取り組み】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①身体のリラクゼーション</li> <li>②パソコン操作</li> <li>③情報提供</li> </ol> <p>姿勢変換、リラクゼーションを行いました。身体の変形が著しく、左肋骨と骨盤がかっついている状態なので、特に左側湾を伸ばすようにしました。ボトックスの効果がある間は、ゆったりと落ち着いて緊張がなく、パソコン（レットチャット、iPad）の操作に意欲的に取り組みました。気管分離手術後、声が出なくなっているため、意思伝達の機器としてパソコンを利用したいという希望を強くもっています。本人にあったスイッチ、入力方法が課題です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

	 <p>現在の楽しみはネットショッピングと韓国ドラマのビデオ、好きな歌手のDVDを観賞することです。もともと外界に対する関心が高く、自立心も高く、親元から離れて24時間介護の自立生活を6年間送っていました。身体の状態の急変で入院し、退院後は実家での生活になっています。入院中は生きることに消極的になり「死にたい」と訴えることもありました。訪問サービスを通して、体験を増やし、情報提供をする中で、生活に潤いと希望を見いだすことが出来るようになれば、と思っています。</p>
利用者から	<p>(以下は本人が文字盤で表現したことを母が代筆しました)</p> <p>私は一昨年肺炎になり、気管切開をしました。それで声を失いました。絶望のどん底に落ちてしまいました。その時宋戸先生から声をかけてもらって@希林館に入りました。</p> <p>家庭でできる余暇の過ごし方を教えてください。また、身体のケアも同時に行ってください。さだまさしが大好きな私の為にギターを弾いて歌って下さり、その時間はウキウキします。</p> <p>iPad を使ったゲームや情報を色々勉強させてもらっています。普段は身体がきつくて辛いのですが、@希林館の時間は楽しくて痛みを忘れて夢中になってしまいます。</p> <p>私の命が続く限り入ってみたいです。これからも宜しくお願いします。</p>

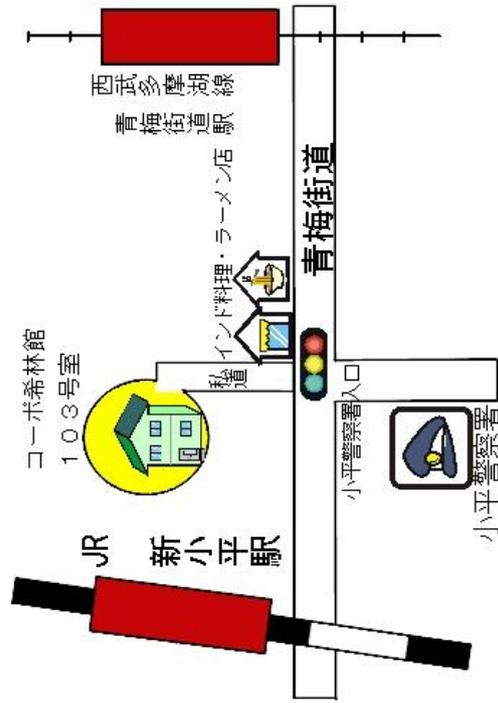
## 6 利用者Fさん

身体機能・健康配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人工肛門とストマから腸へ70センチほどチューブを挿入。</li> <li>・座位などの姿勢を10分以上続けると腸が飛び出てくるので、数分仰臥位になる必要がある。</li> <li>・経鼻チューブ留置。胃のガス抜きと夜間にポンプでの注入。</li> <li>・水頭症でシャント使用。</li> </ul>
他の福祉サービスの利用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活介護事業所 週3回</li> <li>・外来通院 1回/週</li> <li>・外来リハ 1回/月</li> </ul>
学習内容	お話、タブレットでゲームや文字や神経衰弱、音楽（演奏、カラオケ、合唱）
訪問日	第2・第4火曜午前

<p>学習の様子</p>	<p>訪問学習の前日から体調を整えて、話をしたいことを自分で考えて準備していました。</p> <p>学習時は、フロアにあぐら座位をとり、テーブルを挟んで支援員と向かい合って学習を行いました。構音障害はあるが、音声言語でのコミュニケーションが可能で、細かい操作には難があるが手指を使った操作が可能。</p> <p>学習の流れである始まりの合図や天気・予定など率先して本人が進行ます。助成金で購入した iPad を使って、文字・数・音楽・お絵かき・神経衰弱など行い、本人も iPad の活用を気に入り、自身で購入まで行いました。実際の購入及びセッティングは支援員が行いました。日常的に機器を使うためにはご家族のサポートも必要なので、学習時間中は母親も同席して、一緒に操作をして学習を楽しんでもらいました。</p> <p>なお、学習時には人工肛門から腸が出てこないように適時仰臥位になる時間を設けて配慮しました。</p> 
<p>利用者の保護者から</p>	<p>私の娘は、身体の都合により重心通所には月・水・金と通っています。木曜日は検診のため、病院に通っています。</p> <p>娘は人と接すること、おしゃべりが大好きですが、火曜日は一日中ゲームをして過ごしていました。そのゲームもマンネリ化してしまい、つまらない思いをしているのではないかと思っているところへ、訪問カレッジのお話を伺い、これを利用したら、楽しい時間が過ごせるのではと思い、入学させていただきました。何より本人が家にいて利用できることに安心いたしました。</p> <p>初めて先生が見えた日、なんと親もまだ実物を見たことのない iPad を持ってきてくださいました。はたして娘はこれを使うことができるのだろうかと思っていましたが、先生のご指導のおかげで、毎日 iPad でゲームを楽しんでいます。何より火曜日に先生がみえるのを楽しみにしています。</p> <p>親として娘には元気に楽しく毎日を送ってもらえたらと思っています。外に出て行って楽しめたらよいのですが、身体の都合でできません。そんな重い障害を抱えている娘にとって、家に先生が来てくださり、充実した時間を過ごさせてもらえることはありがたいです。</p> <p>障害を持った人たちを支援する制度はいくつかありますが、その制度を利用したくても、重い障害により利用することが難しいのです。そのような人たちにとって、この訪問カレッジはとてありがたい支援です。</p> <p>どうかこの支援がずっと続くことを願っています。</p>

## 事務所のご案内

JR 武蔵野線新小平駅徒歩3分  
西武多摩湖線青梅街道駅徒歩5分



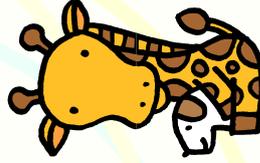
障がいや病気のために通所施設等の毎日の利用が  
難しい18歳以上の人たちの生涯学習を支援する

訪問・福祉サービス事業

あっと きりんかん

# 訪問力いじじい@希林館

入学のご案内



特定非営利活動法人  
地域ケアさぽーと研究所

〒187-0032

東京都小平市小川町二丁目 1915 番地

コーポ希林館 103 号室

電話: 042-403-3229 FAX: 042-403-3229

URL: <http://members3.jcom.home.ne.jp/ccsupport/>

Email: [ccsupport@jcom.home.ne.jp](mailto:ccsupport@jcom.home.ne.jp)

特定非営利活動法人  
地域ケアさぽーと研究所

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

# 「訪問力レッジ@希林館」のご案内



## 「訪問力レッジ@希林館」とは？

特別支援学校などを卒業後、障がいや病気のために通所施設等の毎日の利用が難しい18歳以上の方のご自宅を学習支援員が訪問して、生涯学習を支援する訪問・福祉サービスです。

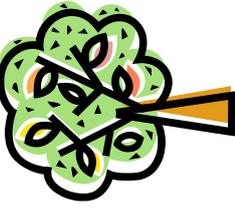
## このような方がご利用いただけます

東京都多摩地区に住み、障がいや病気のために通所施設等の毎日の利用が難しい18歳以上の方で、学習支援員の派遣を希望している方

## どんなことが学べるの？

特別支援学校で学んだ学習の延長と考えるとただけると分かりやすいかと思えます。

科目	内容(例)
国語	読み聞かせ、絵本作り、作文
音楽	音楽鑑賞、楽器演奏
家庭科	調理、被服
美術	絵画、写真、物作り
体育	ボールやポールを使った体操など
情報	パソコン、コミュニケーションエイド



上記の内容は、一例です。利用開始時に希望を出していただき、学習支援員と相談の上、決定させていただきます。その他、意思伝達装置の導入、おもちゃの改造、食事作り・介助、洋服のリメイクなどのご相談にもなります。

## 学習支援員について

特別支援学校や福祉施設等での勤務経験があり、障がいや病気に関する知識と理解を深めている者を派遣いたします。

## 訪問の回数・時間について

1箇月につき1～4回(週1回まで)、平日又は土曜日において実施します。1回の時間は午前9時30分から午後5時までの間の約2時間を基本とします。

## 費用について

平成24年度は、NPO法人地域ケアさぼーと研究所の試行事業として行いますので、ご利用に当たっての費用負担は一切ございません。

## お手続きについて

①本研究所へ電話(042-403-3229)またはメール(ccsupport@jcom.home.ne.jp)で「訪問力レッジ@希林館」への入学希望」及び連絡先をご連絡ください。

②担当者がご自宅を訪問して、事業要綱のご説明のあと、「訪問力レッジ@希林館」入学申込書を記入していただきます。その際、希望の訪問の回数、時間、申請者の希望する学習内容を伝えていただきます。

③派遣を決定したときは、申請者に「訪問力レッジ@希林館」入学決定通知書をお渡しします。

④学習支援員の訪問が始まります。

# 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

特定非営利活動法人地域ケアさぽーと研究所

平成24年度 訪問・福祉サービス事業要綱

24地域ケア研第14号

平成24年7月10日

(目的)

第1条 訪問・福祉サービス事業（以下「本事業」という。）は、障がいや病気のために通所施設等の毎日の利用が難しい18歳以上の障がい者等（以下「利用者」という。）の自宅等へ学習支援員（以下「職員」という。）を派遣して、障がい者等の豊かな地域生活を旨とした生涯学習を支援することを目的とする。

(名称)

第2条 この要綱により実施する事業の名称は、「訪問カレッジ@<sup>あつと</sup>希林館」とする。

(対象者)

第3条 本事業の対象者は、障がいや病気のために通所施設等の毎日の利用が難しい18歳以上の障がい者等であって、次に掲げる要件の全てを満たすものとする。

- (1) 東京都多摩地域に住所又は居所を有すること。
- (2) 第1条の目的を達成するために、職員の派遣が有効であると認められる者であること。
- (3) 本人、保護者またはそれに代わる者が派遣を希望していること。

(事業内容等)

第4条 本事業は、事業の利用者の自宅等に職員を派遣し、当該利用者に対し、次に掲げる支援を行うものとする。

- (1) 学習を支援すること。
- (2) 遊び相手になること。
- (3) 話し相手になること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、利用者の豊かな地域生活のために理事長が必要と認めること。

2 訪問は、1箇月につき1～4回（週1回まで）、平日又は土曜日において実施するものとし、1回の時間は、午前9時30分から午後5時までの間の約2時間を基本とする。

3 訪問の期間は、平成24年7月から平成25年3月までの単年度とする。年度ごとに支援の要否を見直す。

(派遣の申請、決定及び変更)

第4条 本事業の利用を希望する本人、保護者またはそれに代わる者（以下「申請者」という。）が職員の訪問を希望する場合、「訪問カレッジ@希林館」入学申込書（第1号様式。以下「申込書」という。）を当研究所に提出する。

2 理事長は、申込書記載事項と申請者の聞き取りにもとづいて、訪問の回数、時間、申請者の希望する学習内容と訪問する職員のマッチング、家庭の状況、支援の有効性等を検討して決定する。

3 理事長は、派遣を決定したときは、申請者に「訪問カレッジ@希林館」入学決定通知

書（第2号様式）により通知する。

（派遣の中断、中止及び終了）

第5条 理事長は、次の各号のいずれかに該当するときは、派遣を中断する。

- （1）利用者本人の体調が良くないとき。
- （2）第6条に規定する職員の派遣日の調整が困難となったとき。
- （3）その他派遣が困難となる事由が発生したとき。

2 理事長は、次の各号のいずれかに該当するときは、派遣を終了するものとし、「訪問カレッジ@希林館」終了書（第3号様式）により、本人、保護者またはそれに代わる者に発行する。

- （1）支援の期間が満了したとき。
- （2）その他派遣が必要でなくなったとき。

（学習支援員の登録）

第6条 理事長は、利用者に派遣する職員を事前に登録する。

2 前項の職員は、特別支援学校や福祉施設等での勤務経験があり、障がいや病気に関する知識を有し、理解を深めている者とする。

3 職員として登録を受けようとする者は、学習支援員登録申請書（第4号様式。以下「申請書」という。）を理事長に提出する。

4 理事長は、申請書の提出を受けたときは、速やかにその内容を審査し、登録することを決定したときは、学習支援員登録決定通知書（第5号様式）により当該申請書を提出したものに通知する。

5 職員の登録の期間は1年間とし、更新することができる。

（職員の養成）

第7条 支援を効果的に行うため、法人で企画する重度訪問介護従業者養成研修等の研修会を実施し、職員に対して福祉の資格を取得するように働きかける。

（活動の報告）

第8条 職員は、実施した支援の内容等を記載した学習支援活動報告書（第6号様式。以下「活動報告書」という。）を1箇月毎に提出する。

（事故の予防）

第9条 本研究所は、本事業における事故の予防に努めるとともに、職員が加入するボランティア保険の費用を負担する。

（交通費等の支給）

第10条 派遣した職員に対して活動費として、1回の派遣につき3,000円（交通費実費含む）を支給する。

2 活動費は、活動報告書により実績を確認した上で支給する。

（その他）

第11条 この要綱に定めるもののほか、本事業の実施について必要な事項は、理事長が定める。

附 則（平成24年7月1日 24地域ケア研第〇号）

この要綱は、平成24年7月1日から施行する。

第1号様式（第4条関係）

「訪問カレッジ@希林館」入学申込書

年 月 日														
(宛先) 特定非営利活動法人地域ケアさぼーと研究所 理事長 飯野順子 様														
「訪問カレッジ@希林館」への入学について、次のとおり申し込みます。														
申請者	ふりがな 氏名	印												
	住所・電話	〒 電話 E-mail												
入学希望者	ふりがな 氏名													
	生年月日	年 月 日生 ( 歳)												
	住所・電話	(申請者に同じ場合は□にチェック)    □同上 〒 電話 E-mail												
学習支援について	希望の 日時・回数	<毎月1～2回の場合> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 50%;">派遣希望日</td> <td style="width: 50%;">時間</td> </tr> <tr> <td>第  ・ 曜日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第  ・ 曜日</td> <td></td> </tr> </table> <毎週1回の場合> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 50%;">派遣希望日</td> <td style="width: 50%;">時間</td> </tr> <tr> <td>第1希望日 毎週 曜日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第2希望日 毎週 曜日</td> <td></td> </tr> </table>	派遣希望日	時間	第  ・ 曜日		第  ・ 曜日		派遣希望日	時間	第1希望日 毎週 曜日		第2希望日 毎週 曜日	
	派遣希望日	時間												
	第  ・ 曜日													
	第  ・ 曜日													
	派遣希望日	時間												
	第1希望日 毎週 曜日													
	第2希望日 毎週 曜日													
希望の 学習支援 内容														
その他														

※いただいた個人情報は、訪問・福祉サービス事業のみで使用します。

第2号様式（第4条の2関係）

「訪問カレッジ@希林館」入学決定通知書

平成24年 月 日							
(宛先)  様  「訪問カレッジ@希林館」への入学について、以下のとおり認めます。  特定非営利活動法人地域ケアさぼーと研究所 理事長 飯野順子 印							
学習支援について	日時・回数						
	<毎月1～2回の場合> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 60%; padding: 2px;">派遣予定</td> <td style="width: 40%; padding: 2px;">時間</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">第 ・ 曜日</td> <td style="padding: 2px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">第 ・ 曜日</td> <td style="padding: 2px;"></td> </tr> </table>	派遣予定	時間	第 ・ 曜日		第 ・ 曜日	
	派遣予定	時間					
	第 ・ 曜日						
	第 ・ 曜日						
	<毎週1回の場合> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 60%; padding: 2px;">派遣予定日</td> <td style="width: 40%; padding: 2px;">時間</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">毎週 曜日</td> <td style="padding: 2px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">毎週 曜日</td> <td style="padding: 2px;"></td> </tr> </table>	派遣予定日	時間	毎週 曜日		毎週 曜日	
派遣予定日	時間						
毎週 曜日							
毎週 曜日							
学習支援内容							
その他	○担当学習支援員連絡先 電話番号						

訪問の日時については、原則です。

具体的には前月・前の週に学習支援員（○）と相談して決めていただきます。

第3号様式（第5条の2関係）「訪問カレッジ@希林館」終了書

平成24年 月 日

(宛先)

様

「訪問カレッジ@希林館」の利用について、終了したことをお知らせします。

特定非営利活動法人地域ケアさぼーと研究所

理事長 飯野順子 印

1 利用期間

平成24年 月から平成25年 月まで

2 利用回数

回

学習支援員登録申請書

年 月 日																
(宛先) 特定非営利活動法人地域ケアさぼーと研究所 理事長 飯野順子 様																
「訪問カレッジ@希林館」における学習支援員として、次のとおり登録致します。																
申請者	氏名	印														
	住所・電話	〒 電話 E-mail														
学習支援 について	勤務可能な 日時・回数	原則として勤務可能な日時は以下の通りです。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 5px;">勤務可能な日</th> <th style="text-align: center; padding: 5px;">時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">(毎月・週) 曜日</td> <td style="width: 100px;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">(毎月・週) 曜日</td> <td style="width: 100px;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">(毎月・週) 曜日</td> <td style="width: 100px;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">(毎月・週) 曜日</td> <td style="width: 100px;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">(毎月・週) 曜日</td> <td style="width: 100px;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">(毎月・週) 曜日</td> <td style="width: 100px;"></td> </tr> </tbody> </table>	勤務可能な日	時間	(毎月・週) 曜日											
	勤務可能な日	時間														
	(毎月・週) 曜日															
	(毎月・週) 曜日															
	(毎月・週) 曜日															
	(毎月・週) 曜日															
	(毎月・週) 曜日															
	(毎月・週) 曜日															
支援可能な学習内容・特技																
その他																

※いただいた個人情報は、訪問・福祉サービス事業のみで使用します。

第5号様式（第6条の4関係）

学習支援員登録決定通知書

平成24年 月 日

(宛先)

様

「訪問カレッジ@希林館」の学習支援員として登録しました。

特定非営利活動法人地域ケアさぼーと研究所

理事長 飯野順子 印

登録者氏名	氏名															
学習支援について	勤務可能な日時・回数	原則として勤務可能な日時は以下の通りです。														
		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">勤務可能な日</th> <th style="width: 50%;">時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">(毎月・週) 曜日</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	勤務可能な日	時間	(毎月・週) 曜日											
		勤務可能な日	時間													
		(毎月・週) 曜日														
		(毎月・週) 曜日														
		(毎月・週) 曜日														
		(毎月・週) 曜日														
	(毎月・週) 曜日															
(毎月・週) 曜日																
支援可能な学習内容・特技																
その他																

第6号様式（第8条関係）

学習支援活動報告書

年 月 日		
(宛先) 特定非営利活動法人地域ケアさぽーと研究所 理事長 飯野順子 様		
「訪問カレッジ@希林館」における学習支援員として、平成24年__月分の訪問を次のとおり報告します。		
氏名 _____ 印		
訪問日・時	訪問先	活動記録
平成24年 月 日 : ~ : (同行: )		
平成24年 月 日 : ~ : (同行: )		
平成24年 月 日 : ~ : (同行: )		
平成24年 月 日 : ~ : (同行: )		
平成24年 月 日 : ~ : (同行: )		
平成24年 月 日 : ~ : (同行: )		
平成24年 月 日 : ~ : (同行: )		
平成24年 月 日 : ~ : (同行: )		
平成24年 月 日 : ~ : (同行: )		
平成24年 月 日 : ~ : (同行: )		
平成24年 月 日 : ~ : (同行: )		

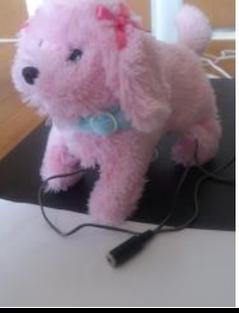
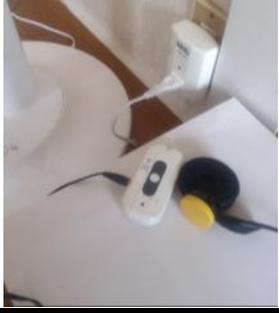
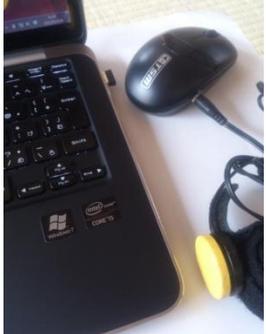
## コミュニケーション支援と機器【入力スイッチ編】

特定非営利活動法人 地域ケアさぽーと研究所

<p>●押すタイプ (小) スペックスイッチ</p>	<p>●押すタイプ (大) ジェリービーンスイッチツイスト</p>	<p>●押すタイプ フィルムケーススイッチ</p>
<p>小型のスイッチで、手などに巻きつけて指で押ししたり、身体に押しつけるなどしてスイッチのONを行います。</p>	<p>手などで押し込んで、スイッチのONを行います。押す部分の色を取り替えることができます。</p>	<p>フィルムケースにねじ式押しボタン型のスイッチを取り付けたスイッチで、手に握って親指で押すなどの使い方をする。</p>
		
<p>●握るタイプ 握りスイッチ</p>	<p>●引っ張るタイプ プルスイッチ</p>	<p>●多方向から押せるタイプ クリップアーム棒スイッチ</p>
<p>黒いスポンジ部分を握りしめるとスイッチが入ります。</p>	<p>紐を引くとスイッチが入ります。</p>	<p>「どっちもクリップ」に取り付けたスイッチにつながったウレタン部分に触れるとスイッチが入ります。</p>
		
<p>●接触・微細反応タイプ ピエゾニューマティックセンサスイッチ</p>		
<p>「ゆがみ」を検出する圧電素子（ピエゾ）とエアバックに触れて空圧（ニューマティック）を検出する 2 種類のセンサから選択可能。僅かな力で操作可能。電源が必要です。</p>		
		

## コミュニケーション支援と機器【信号介在部品編】

特定非営利活動法人 地域ケアさぽーと研究所

<p>●電池の間に入れるタイプ BDアダプター</p> <p>おもちゃなどの電池の間に入れて別のスイッチでスイッチを操作するタイプ。</p>	<p>●100ボルト家電に使用 リモコンリレー（販売終了）</p> <p>100ボルトの家電とコンセントの間に入れる。有線のスイッチをONした間だけ通電して動く。</p>	<p>●100ボルト家電に使用 リモコンスイッチ</p> <p>100ボルトの家電とコンセントの間に入れる。スイッチを取り付けたリモコンでONとOFFの操作をする。</p>
		
		
<p>●赤外線リモコンを操作する 学習よくばりリモコン</p> <p>扇風機やテレビのスイッチなど赤外線のリモコンを学習させて、リモコンに取り付けたスイッチで操作する。</p>	<p>●VOCAを介在させる ビックマックやステップバイステップなどのVOCA</p> <p>おもちゃなどをVOCAに接続し、VOCAをスイッチにする。音声が出ている間、スイッチがONになる。</p>	<p>●マウスのクリック操作 マウスの改造</p> <p>PCのソフトを使用する際、左クリックをスイッチで操作できるように、ジャックを取り付けたもの。</p>
		
		

## コミュニケーション支援と機器【コミュニケーションエイド編】

特定非営利活動法人 地域ケアさぽーと研究所

<p>● V O C A (Voice Output Communication Aid) ステップバイステップウィズレベル</p>	<p>● V O C A (Voice Output Communication Aid) アイトークウィズレベル</p>	<p>● V O C A (Voice Output Communication Aid) ボイスメモ</p>
<p>メッセージを3グループに分けて録音でき、録音した順番に再生。合計4分間録音。おもちゃの接続をして設定したメッセージの再生中、おもちゃが動く。</p>	<p>2つのスイッチにそれぞれ3つのレベルで、合計2分の録音・再生。電池で動く機器の接続が可能。メッセージが再生されている間、機器が動く。</p>	<p>市販のボイスメモにスイッチ操作できるようにジャックを取り付ける改造したもの。</p>
 <p>レベルスイッチ</p>		
<p>●意思伝達装置 レッツチャット</p>	<p>●携帯会話補助装置 トーキングエイド</p>	
<p>画面の文字盤でスキャンが行われ、スイッチで文字を決定していき、文章を作成する。音声やプリンターで出力、テレビのスイッチや呼び出し音など環境制御装置でもある。</p>	<p>文字盤のキーを指や棒で押してメッセージを作りそれを音声出力と液晶画面表示で相手に伝える。</p>	
		
<p>●意思伝達装置 HeartyLadder(ハーティアー ラダー) (PCソフト・無料)</p>	<p>●携帯会話補助装置 トーキングエイド (iPad アプリ・6900円)</p>	<p>●シンボルの利用 Droptalk (iPod アプリ・1100円)</p>
<p>Windows パソコンで動くソフト。文章の作成やメール、そしてWindows操作が可能。</p>	<p>Ipad でソフトウェア的にトーキングエイドを実現。ソフトなのでワンタッチでパネルの入れ替えが可能。</p>	<p>Droplet Project が開発した絵記号ライブラリ「Drops」と、日本語音声プリインストールされ、カスタマイズや自作のシンボルの追加が簡便。</p>
		

## コミュニケーション支援と機器【その他編】

特定非営利活動法人 地域ケアさぽーと研究所

<p>●残り時間を知る Time Timer</p>	<p>●残り時間を知る Time Timer (iPad アプリ 600円・iPod アプリ 350円)</p>	<p>●残り時間を知る タイマー (iPad アプリ・170円)</p>
<p>のこり時間が一目でわかるタイマー。AD/HD・自閉症のある生徒さんたちや、時間の感覚が弱い方々が、正確な時間感覚を身につけるために使用する。</p>	<p>iPadでソフトウェア的にTime Timerを実現。</p>	<p>あとどれくらいの時間？を面積の減少で表示。画像とテキストが同時に掲示されるので「何があとどれくらい？」を理解しやすくなる。</p>
		
<p>●おもちゃ ミュージックビーズチェーン/スイッチ ED357</p>	<p>●おもちゃ ミニドーム ED72</p>	<p>★DBアダプターの作り方 ①材料 プラスチックカード、銅箔、両面テープ、3.5 ミニプラグ、平行コード ②プラスチックカードに両面テープで銅箔を張り付ける。8ミリ程度の円に切り抜く。 ③ミニプラグにコードを付け、反対側に②で作った円盤の両面の銅箔にハンダで接着させる。</p>
<p>ビーズが金属のバーに接触すると内蔵のミュージックボックスから音楽が流れる。他の玩具などに接続すれば外付けスイッチとしても使用可能。</p>	<p>大きく押しやすいプレートに触れると光るスパンコールの紙吹雪がドームの中を舞い、音楽が流れ、ドームが震動する。</p>	
		

購入先の一例

- ・電子部品 タック電子販売株式会社 <http://www.tackdenshi.co.jp/>
- ・コミュニケーション機器 パシフィックサプライ株式会社 <http://www.p-supply.co.jp/>